

# 令和3年度森林づくり県民税活用事業実績見込み

(令和4年2月末現在)

## 1 令和3年度 森林税活用事業実績見込み総括表

1 P

## 2 事業別実施状況 (県庁執行分を除く)

※佐久地域実施分

- |                                 |      |
|---------------------------------|------|
| 1 「防災・減災」及び「住民等による利活用」のための里山の整備 |      |
| (1) みんなで支える里山整備事業【防災・減災】        |      |
| ア) 間伐等                          | 2 P  |
| イ) 危険木伐採(ライフライン等保全対策)           | 3 P  |
| (2) 道路への倒木防止事業                  | 4 P  |
| (4) 河畔林整備事業                     | 5 P  |
| (5) みんなで支える里山整備事業【県民協働】         | 6 P  |
| (7) 県民協働による里山整備・利用事業            | 7 P  |
| ア) 活動動推進事業                      | 8 P  |
| イ) 資源利活用推進事業                    |      |
| 2 自立・持続的な森林管理のための間伐材等の利活用       |      |
| (1) 地消地産による木の香る                 |      |
| イ) 子どもの居場所の木質化                  | 9 P  |
| エ) 木工体験活動支援                     | 10 P |
| 4 多様な県民ニーズに応えるための森林の利活用         |      |
| (1) 学校林等利活用促進事業                 | 11 P |
| (5) 観光地等魅力向上森林景観整備事業            | 12 P |
| (6) 森林セラピー推進支援事業【施設整備等】         | 13 P |
| 5 市町村に対する財政調整的視点での支援            |      |
| (1) 森林づくり推進支援金                  | 14 P |
| 6 森林づくりの理解を深める普及啓発及び森林税の評価・検証   |      |
| (1) みんなで支える森林づくり推進事業            | 28 P |
| (2) 森林(もり)の里親促進事業               | 29 P |

(\*番号、項目は1ページ実績見込み総括表の事業名です。)



令和3年度（2021年度） 森林税活用事業実績見込み総括表

(千円)

事業名	令和2年度実績				令和3年度実績見込み(R4.2末現在)				計画対比 (%)	備考
	佐久地域計	佐久地域執行機関内訳			佐久地域計	佐久地域執行機関内訳				
		地域振興局	建設事務所	県民文化センター・県民課(県庁)		地域振興局	建設事務所	県民文化センター・県民課(県庁)		
1 「防災・減災」及び「住民等による利活用」のための里山の整備										
(1)みんなで支える里山整備事業【防災・減災】	ア)開伐等 イ)風除木伐採(ライフライン等 保安対策)	32,719 0	32,719 0		34,257 1,600	34,257 1,600		105% 皆増		
(2)道路への倒木防止事業		4,000		4,000	2,300		2,300	58%		
(3)地域で進める里山集約化事業										
(4)河畔林整備事業	ア)県管理河川	4,500		4,500	4,379		4,379	97%		
	イ)市町村管理河川	13,500		13,500	6,750		6,750	50%		
(5)みんなで支える里山整備事業【県民役割】		17,921	17,921		15,343	15,343		86%		
(6)里山整備方針作成事業										
(7)県民協働による里山整備・利用事業	ア)活動助進事業	714	714		344	344		48%		
	イ)資源利活用推進事業	1,289	1,289		375	375		29%		
1 小計		74,643	52,643	22,000	65,348	51,919	13,429	88%		
2 自立・持続的な森林管理のための間伐材等の利活用										
(1)地消地産による木の香る暮らしづくり事業	ア)公共サイン									
	イ)子どもの居場所の木質化	327	327		315	315		96%		
	ウ)木づかい空間	4,444	4,444		0	0		0%	R3事業無し	
	エ)木工体験活動支援				112	112		皆増		
(2)薪によるエネルギーの地消地産事業										
(3)松くい虫被害木利活用事業										
2 小計		4,771	4,771	0	427	427	0	9%		
3 森林づくりに関わる人材の育成										
(1)里山整備利用地域リーダー育成事業										
(2)森林セラピー推進支援事業【人材育成等】									県庁(林務部)において、 全県対象に直接実施	
(3)エコツーリズムガイド人材育成事業										
(4)自然教育・野外教育推進事業										
3 小計		0	0	0	0	0	0			
4 多様な県民ニーズに応えるための森林の利活用										
(1)学校林等利活用促進事業		277	277		229	229		83%		
(2)自然保育活動フィールド等整備事業		813		813			0	0%	(県庁県民文化財実施、確定後に入します。)	
(3)まちなかの緑地整備事業										
(4)観光地の景観整備【県道道沿線等維持(保樹費)】										
(5)観光地等魅力向上森林景観整備事業		7,331	7,331		3,178	3,178		43%		
(6)森林セラピー推進支援事業【施設整備等】		870	870		3,732	3,732		429%		
4 小計		9,291	8,478	0	813	7,139	7,139	0	77%	
5 市町村に対する財政・政策的視点での支援										
(1)森林づくり推進支援金		10,759	10,759		11,206	11,206		104%		
6 森林づくりの理解を深める普及啓発及び森林樹の評価・検証										
(1)みんなで支える森林づくり推進事業		285	285		270	270		95%		
(2)森林(もり)の里親促進事業									県庁(林務部)において、 全県対象に直接実施	
(3)地球温暖化防止木材利用普及啓発事業										
(4)地球温暖化防止吸収源対策推進事業										
6 小計		285	285	0	270	270	0	95%		
合計		99,749	76,936	22,000	84,390	70,961	13,429	0	85%	



# 1 (1) みんなで支える里山整備事業(防災・減災)

## ア) 間伐等

### 1 事業の概要

「防災・減災」の観点から、未整備の里山のうち、科学的知見等を活用して、優先的に整備が必要な箇所の間伐を推進する。

### 2 目指す成果・成果目標

防災・減災のために必要不可欠な里山の間伐 概ね 4,300ha 程度/5 年間

#### 【取組により期待される効果】

・森林整備の実施を通じた防災意識の向上(里山整備実施者の増加)

### 3 令和3年度 実績見込み

単位:千円

実施地域	事業主体	令和3年度 事業内容	補助率	補助金額
佐久市	(株) 笹崎材木店	間伐 8.00ha 作業道開設 1,467m	9/10以内	34,257
小海町	南佐久中部森林組合	間伐 23.60ha 作業道開設 2,244m		
佐久穂町	南佐久北部森林組合	間伐 3.37ha		
南相木村	南佐久中部森林組合	間伐 5.98ha 作業道開設 714m		



南相木村上栗尾  
間伐  
作業道開設



小海町豊里  
間伐  
作業道開設



# 1 (1) みんなで支える里山整備事業(防災・減災)

## イ) 危険木伐採(ライフライン等保全対策)

### 1 事業の概要

倒木によるライフラインや集落、公共施設等への被害を防ぐため、被害を及ぼす恐れのある立木竹及び枯損木等の危険木伐採を支援する。

### 2 目指す成果・成果目標

安全が確保される主要なライフライン等 概ね55箇所程度/5年間

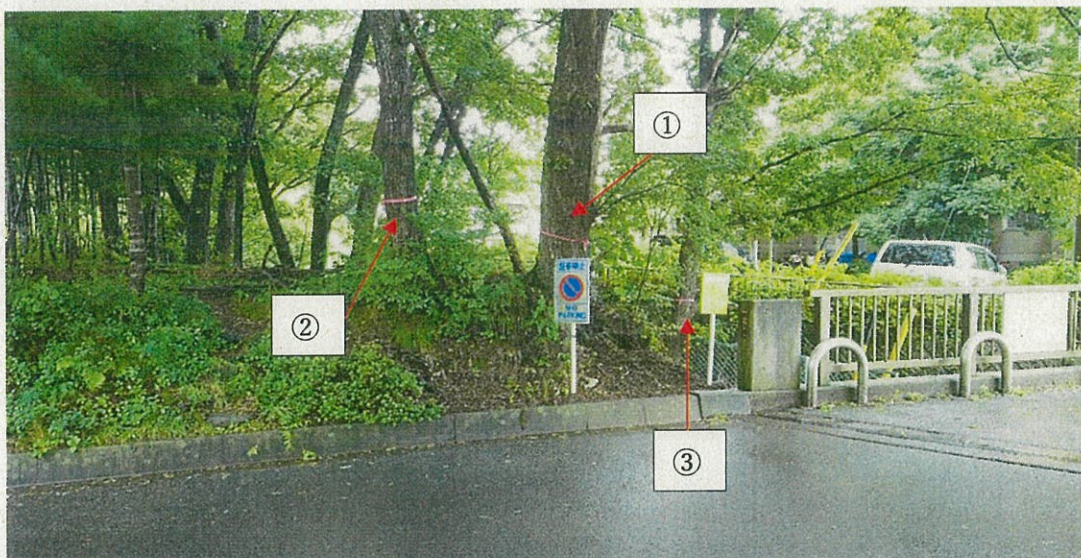
#### 【取組により期待される効果】

- ・生活基盤の安全確保と防災意識の向上

### 3 令和3年度実績見込み

単位:千円

実施地域	事業主体	令和3年度 事業内容	補助率	補助金額
南牧村 大芝地区	南牧村	危険木等処理 156本	9/10以内	1,600
御代田町 反地区	御代田町	危険木等処理 9本		



御代田町  
作業前



御代田町  
作業後



## 1 (2) 道路への倒木防止事業 (佐久建設事務所)

### 1 事業の概要

台風災害時に倒木による停電や通行止めが発生しており、安全・安心な県民生活のためにはこれらの倒木を未然に防ぐ取組みが急務であることから、道路へ倒木の危険のある立木を伐採する。

### 2 目指す成果・成果目標

危険木伐採 1箇所

#### 【取組により期待される効果】

生活基盤の安全確保と防災意識の向上

### 3 令和3年度 実績見込み

単位:千円

市町村	実施地域	事業主体	令和3年度 事業内容	事業費
南牧村	市場坂 (国)141号	県	危険木伐採	2,300
計	1箇所			

<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;">着手前</div> 写真	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;">竣工</div> 写真
<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                     市場坂：現在施工中（3月末完了予定）                      完了後に写真整理します。                 </div>	



## 1 (4) 河畔林整備事業 (佐久建設事務所)

### 1 事業の概要

河畔林における枯損木や細くて倒れやすい立木等の洪水時に流れ出る危険木を減らすことで、洪水被害を防止・軽減する。

### 2 目指す成果・成果目標

河畔林の整備(県管理河川) 2箇所

河畔林の整備(市町村管理河川) 4箇所

#### 【取組により期待される効果】

- ・河畔林内の危険木等が除去されることにより、洪水時の流木被害の危険性を低減させる。
- ・河畔林の整備による景観の向上、野生動物の出没の抑制。

### 3 令和3年度 実績見込み

単位:千円

市町村	実施地域	事業主体	令和3年度 事業内容	事業費 市町村は補助金額
川上村	千曲川(梓山)	県	河畔林整備	2,002
立科町	芦田川(中尾～美上下)	県	河畔林整備	2,377
県 営		県小計	2 箇所	4,379
川上村	埋沢川(御所平)	村	河畔林整備(補助)	900
小海町	親沢川(本村)	町	河畔林整備(補助)	2,250
立科町	植木沢川(芦田)	町	河畔林整備(補助)	1,350
南牧村	小板橋川(板橋)	村	河畔林整備(補助)	2,250
補 助		市町村小計	4 箇所	6,750
計				11,129



(令和3年度 施工箇所 一級河川千曲川 川上村 梓山 )



## 1 (5) みんなで支える里山整備事業 【県民協働による里山の整備・利用事業】

### 1 事業の概要

長野県ふるさとの森林づくり条例に基づく「里山整備利用地域」において、住民協働による里山の整備を促進するとともに、多面的な森林資源の利活用を進めることで、自立的・持続的な森林管理の構築を図る。

### 2 目指す成果・成果目標

地域住民等の主体的な参画による里山の整備・利活用 概ね1,500ha程度/5年間

#### 【取組により期待される効果】

・里山を活用した副業の展開等による山村経済の活性化、人材育成

### 3 令和3年度実績見込み

単位:千円

実施地域	事業主体	令和3年度 事業内容	補助率	補助金額
小諸市	佐久森林組合	地拵え 3.22ha	9/10以内	15,343
		植栽 3.22ha		
		下刈 1.00ha		
小海町	南佐久中部森林組合	更新伐 5.01ha		
		作業道開設 1,830m		
		下刈 0.26ha		
佐久穂町	南佐久北部森林組合	特殊地拵え 0.15ha		
		植栽 3.68ha		



佐久穂町穂積  
植栽  
(林野火災跡地)



小諸市滋野  
下刈



# 1 (7) 県民協働による里山の整備・利用事業

## 「里山整備利用地域」認定に向けた取組

### 1 取組の概要

- ・里山を保全するには、地域住民等による里山の多面的な利活用と間伐等の整備を推進することが有効であり、こうした活動を広く地域で展開していくことが重要。
- ・このため、「長野県ふるさとの森林づくり条例」に基づく「里山整備利用地域」に認定し、里山の整備を進めるとともに、木材利用や教育、観光等の多面的な森林資源の利活用をすることが効果的。
- ・こうした取組を普及・支援するため、制度の周知や取組のコーディネート、技術的な支援などを行う。

【認定要件】

- 対象森林面積が5ha以上あり、密接に関係する集落が存在する  
(地形等の状況によりやむを得ない場合は5ha未満でも対象となり得る)
- 地域住民等による自発的な活動を行うための体制がある
- 活動の内容が里山の整備及び利用を推進するものであり、里山の保全に資するもの
- 活動が継続的に行われると認められる

### 2 目指す成果(目標・指標)

- ・里山整備利用地域の認定目標 15地域(県下全体150地域;H30~R2)
- ・地域住民等の主体的な参画による里山の整備・利活用

### 3 期待される効果等

- ・住民協働による地域活動の定着化と自立化
- ・地域活動の取り組みの広報や研修会による他地域への波及
- ・地域の林業技術者の活用や里山の多面的な価値を創造するビジネスモデルづくりの促進
- ・里山を活用した副業の展開等による山村経済の活性化
- ・間伐等森林整備や路網整備の促進



住民協働の森林整備



森林環境教育



森づくり(植林活動)

### 4 令和4年2月末 認定状況

認定日	市町村名	地域名	面積	活動を推進する主体	
				名称	構成員の区分及び人数
H30.12.11	小諸市	糠地地区	65	糠地地区里山整備利用推進協議会	地域住民、農業・環境団体、森林組合等20名
H31.2.20	佐久市	片倉区	19	片倉区里山整備利用推進協議会	地元住民等10名
H31.3.25	小海町	本間川地区	59	本間川里山整備利用推進協議会	自治会役員、森林組合等8名
R1.11.1	立科町	宇山地区	74	宇山地区里山整備利用推進協議会	地域住民、地域団体、林業事業者、森林組合
R2.2.13	北相木村	木次原地区	375	木次原地区里山整備利用推進協議会	NPO法人、村、6名
R2.3.31	佐久穂町	筆岩地区	23	筆岩地区里山整備利用推進協議会	地域住民、森林所有者、森林組合、町、14名
計		6地区	615		

### 5 令和3年度の取組概要

- ・地域活動の情報があれば、地域認定と税事業の説明をしたが、実施期間の残りが2年を切っていたので、説明するまでにとどまった。



# 1 (7) 県民協働による里山の整備・利用事業

## ア) 里山整備利用地域活動推進事業

### イ) 里山資源利活用推進事業

#### 1 事業の概要

「里山整備利用地域」において、里山整備利用推進協議会が行う里山整備利用地域活動計画の作成、里山利活用に係る地域の合意形成を図る活動等に要する経費を補助。

#### 2 目指す成果・成果目標

里山整備利用地域での地域住民等の主体的な参画による里山の整備・利活用 615ha (R3年度現在)

##### 【取組により期待される効果】

- ・里山を活用した副業の展開等による山村経済の活性化、人材育成
- ・地域住民による、里山利活用の推進

#### 3 令和3年度実績見込み

##### 【里山整備利用地域活動推進事業】

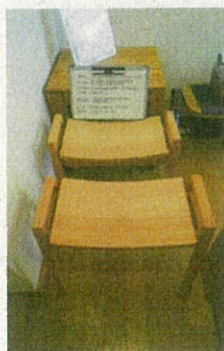
単位:千円

実施地域	事業主体	令和3年度 事業内容	事業費	補助率	補助金額
小諸市 糠地	糠地地区里山整備利用推進協議会	植林活動、パンフレット等の作成配布	199	10/10以内	199
小海町 本間川	本間川地区里山整備利用推進協議会	きのこの植菌教師の開催	81	10/10以内	81
北相村 木次原	木次原地区里山整備利用推進協議会	木質造形物試作品の作成	300	10/10以内	300
立科町 宇山	宇山地区里山整備利用推進協議会	安全技術研修	44	10/10以内	44
計	4団体		344		344

##### 【里山資源利活用推進事業】

単位:千円

実施地域	事業主体	令和3年度 事業内容	事業費	補助率	補助金額
小諸市 糠地	糠地地区里山整備利用推進協議会	案内看板の設置	308	3/4以内	231
北相村 木次原	木次原地区里山整備利用推進協議会	バンドソーの購入	198	3/4以内	144
計	2団体		506		375



木工品の試作品



案内板の設置



## 2 (1) 地消地産による木の香る暮らし事業

### イ)「子どもの居場所」木質空間整備事業

#### 1 事業の概要

幼少期に木と触れ合うことは、情緒を安定させるなど様々な効果をもたらすとされており、こうした観点からは子どもの安全・安心な居場所となる児童センター等は積極的に木質化等を図り、もって子どもの健全な育成を図ることが必要。

#### 2 目指す成果・成果目標

子どもの居場所の木質化、木製家具・木のおもちゃ等の設置 概ね175箇所程度/5年間

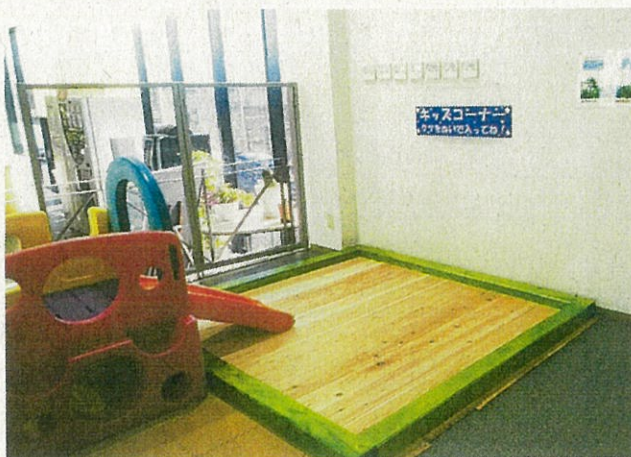
##### 【取組により期待される効果】

・子どもの居場所の質の向上、子どものよりよい教育環境づくり、情操教育の推進

#### 3 令和3年度実績見込み

単位:円

実施地域	事業主体	令和3年度 事業内容	補助率	補助金額
長野トヨタ自動車株式会社 小諸店	長野トヨタ自動車株式会社	木の調度品 (キッズコーナー設置)	3/4以内	157,500
長野トヨタ自動車株式会社 佐久北店	長野トヨタ自動車株式会社	木の調度品 (キッズコーナー設置)	3/4以内	157,500
計				315,000



長野トヨタ自動車株式会社小諸店に設置された  
キッズコーナー



長野トヨタ自動車株式会社佐久北店に設置され  
たキッズコーナー



## 2(1) 地消地産による木の香る暮らし事業

### エ) 木工体験活動支援事業

#### 1 事業の概要

子どもが長野県内で生産された木材を使って行う木工体験活動やそれに付随する活動を支援することにより、木の良さを認識してもらうとともに、木材利用が森林整備に繋がるといふことの理解を深めてもらい、将来における県産材利用の意識の醸成と地消地産による森林資源の循環利用を図るための木工体験の機会を提供する活動。

#### 2 目指す成果・成果目標

##### 【取組により期待される効果】

・木工体験活動により、情操教育の推進、森林づくりの大切さへの理解を深めるとともに、県産材の魅力の訴求、県産材利用の意義についての理解浸透

#### 3 令和3年度実績見込み

単位:円

実施地域	事業主体	令和3年度 事業内容	補助率	補助金額
北相木村内他	北相木村	木工品(キノハナ)製作 林業や木工の仕事の紹介	3/4以内	112,000
計				112,000

(実施中につき写真未整備)



## 4(1) 学校林等利活用促進事業

### 1 事業の概要

- ・次世代の森林づくりに理解を深めるため、学校林の整備及び利活用促進を図る
- ※県立学校は県、市町村立は市町村、学校法人は法人それぞれが事業主体
- 【県立学校の実施方法は、令和3年度から県庁から対象校へ予算配当し、学校が直接実施する方式に変更されました。】

### 2 目指す成果・成果目標

未整備の学校林等の整備の推進及び、森林体験活動等の野外教育活動の利用促進

#### 【取組により期待される効果】

- ・森林を活用した環境教育等の充実
- ・林業の担い手確保、森林への理解も期待される

### 3 令和3年度実績見込み

単位:千円

市町村	対象校	令和3年度 支援の概要	事業費	備考
佐久市	佐久平総合技術 高等学校	・資機材の購入 (ヘルメット等) ・指導者の派遣 (報償費、旅費)	229	学校 直接事業
計	1校		229	



伐倒・玉切り講習会



## 4 (5) 観光地等魅力向上森林景観整備事業

### 1 事業の概要

豊かな森林資源を活かした観光地の魅力向上を図るため、地域の景観に合致した森林整備等を推進し、観光地等の魅力向上を図る。

### 2 目指す成果・成果目標

地域の景観に合致した間伐等 概ね 85ha程度/5年間

#### 【取組により期待される効果】

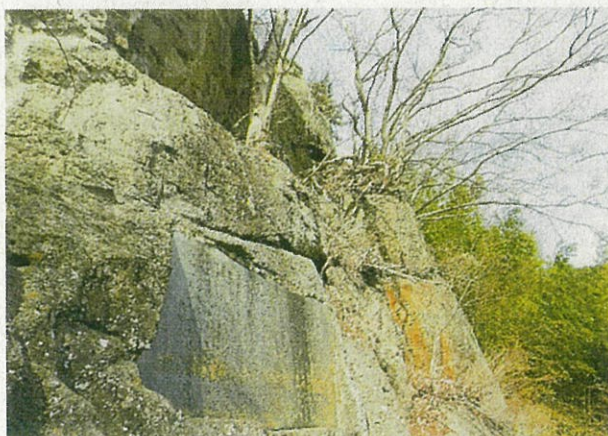
・観光地の魅力向上による観光利用者の満足度の向上

### 3 令和3年度実績見込み

単位:円

実施地域	事業主体	令和3年度 事業内容	補助率	補助金額
佐久市 佐久高原内山峡 疣水(いぼみず)神社周辺	佐久市	眺望を確保するための森林整備	9/10以内	1,039,500
佐久穂町 八千穂高原	佐久穂町	眺望を確保するための森林整備	9/10以内	698,000
北相木村 長者の森	北相木村	地域の景観に合致した森林整備	9/10以内	1,440,300
計	3市町村			3,177,800

佐久市内山 (渋沢栄一記念碑周辺)



作業前



作業後



## 4 (6) 森林セラピー推進支援事業(施設整備)

### 1 事業の概要

森林セラピーの利用を促進するとともに、関連する産業（観光、健康、環境、産業）との連携を強化し、地域資源として積極的に活用していくため、セラピー基地等の魅力向上を図り、利用者の増加、満足度の向上を図る。

### 2 目指す成果・成果目標

森林セラピー基地の整備 1箇所

【取組により期待される効果】

- ・セラピー基地利用者の増加
- ・セラピー参加者の健康維持・増進、森林への興味促進

### 3 令和3年度実績見込み

単位:千円

実施地域	事業主体	令和3年度 事業内容	補助率	補助金額
佐久市(平尾の森)	佐久市	・歩道整備 (木道、木橋修繕)	1/2以内	3,732

(事業実施中につき写真未整備)



## 5(1) 森林づくり推進支援金

### 1 事業の概要

森林づくり指針に掲げる方針を踏まえつつ、森林に関する各地域の様々な課題解決のための国庫補助等の既存施策の対象とならない市町村の取組を支援。

### 2 目指す成果・成果目標

全ての市町村で地域固有の課題の解決の取組が行われること。

#### 【取組により期待される効果】

- ・身近な課題解決への取組による森林への関心の向上
- ・身近な里山などの森林整備や木材利用が図られること。

### 3 令和3年度実績見込み

単位:千円

実施地域	事業主体	事業内容	補助率	補助金額
小諸市他管内全市町村	各市町村	・松くい虫被害対策 ・鳥獣被害防止緩衝帯整備 ・木育推進 他	定額	11,206

・市町村別詳細は次ページのとおり



令和3年度 森林づくり推進支援金 実績見込み一覧表

佐久地域振興局

市町村名	No.	事業 項目 番号	事 業 名	事業費 (千円)	負 担 内 訳		備 考
					支 援 金 (千円)	そ の 他 (千円)	
小諸市	1	1	小諸市松くい虫被害防除特殊伐採補助事業	1,298	1,231	67	2/28完了
	計		1 件	1,298	1,231	67	
佐久市	1	1	松くい虫防除事業 伐倒・くん蒸業務	3,408	2,800	608	事前着手
	計		1 件	3,408	2,800	608	
小海町	1	3	緩衝帯整備事業	990	902	88	
	計		1 件	990	902	88	
佐久穂町	1	1	松くい虫被害枯損木発見等立木調査業務	990	770	220	事前着手
	2	1	松くい虫被害防除対策業務	455	352	103	事前着手
	計		2 件	1,445	1,122	323	
川上村	1	3	カラマツ木育事業	1,177	1,067	110	11/30完了
	計		2 件	1,177	1,067	110	
南牧村	1	3	緩衝帯整備事業	5,000	700	4,300	2/7完了
	計		1 件	5,000	700	4,300	
南相木村	1	2	木資源活用推進事業	533	532	1	8/4完了
	計		1 件	533	532	1	
北相木村	1	1	防災・減災のための森林調査事業（ドローン購入）	270	163	107	
	2	2	木質化推進事業（公共施設木製品設置）	301	301	0	
	3	2	木質化推進事業（木製コサージュ等制作）	66	66	0	
	計		1 件	637	530	107	
軽井沢町	1	3	緩衝帯整備事業	1,100	927	173	11/22完了
	計		1 件	1,100	927	173	
御代田町	1	1	御代田町松くい虫被害防除対策事業	1,400	667	733	
	計		1 件	1,400	667	733	
立科町	1	1	立科町松くい虫防除伐採補助金	141	141	0	
	2	2	県産材を用いたベンチの設置	631	587	44	
	計		2 件	772	728	44	
合 計			14 件	17,760	11,206	6,554	

注)事業項目番号

- 1:「みんなの暮らしを守る森林づくり」に関する事業 2:「木を活かした力強い産業づくり」に関する事業  
3:「森林を支える豊かな地域づくり」に関する事業



市町村別 森林づくり推進支援金事業総括表  
(2月末現在完了市町村分)

<u>小諸市</u>	(完了日R4.2.28)
<u>川上村</u>	(完了日R3.11.30)
<u>南牧村</u>	(完了日R4.2.7)
<u>南相木村</u>	(完了日R3.8.4)
<u>軽井沢町</u>	(完了日R3.11.22)



## 令和3年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名	小 諸 市
------	-------

No.	事業項目	事業名
1	「みんなの暮らしを守る森林づくり」に関する事業	小諸市松くい虫被害防除特殊伐採補助事業
事業費 1,298,000円 (うち支援金: 1,231,000円)		

### 事業目的

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

先端地域を中心に松くい被害木が確認できる。特に、建物、墓地及び道路付近の赤松が被害に遭っている。

(2) 本事業の目的

((1)の課題への対応方向について記載)

平成21年度より当事業を活用することで土地所有者が実施する枯損木の駆除に対して補助制度を設け、市全体の松くい虫防除対策の促進を図ってきた。

令和2年度の当事業実績は、件数42件、処理本数80本、総事業費511万円に及び、松くい虫被害の防除対策という事業の目的はもとより、二次被害の防止効果や土地所有者に対する所有地管理意識向上の啓発効果が期待できる。

### 事業内容

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所：市内全域

(2) 対象者：松くい虫被害による枯損木が存する市内の宅地または墓地等を所有または管理する者。

(3) 実施方法：松くい虫被害木の伐倒処理を業者に委託する費用に対し補助を行った。

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画(平成30～令和4年度)

各年度 処理本数400本 補助金予算額4,000,000円

②令和3年度実績

処理本数119本 補助金額1,298,000円

伐採前



伐採後





## 事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施の効果

松くい被害木の倒木による二次被害防止。

(2) 継続性

松くい被害木が存在する限り、継続する必要性あり。

(3) 普及性

引続き補助事業を継続することで市内の美しい松林景観の造成を図る。

## 事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

当事業では、松くい被害枯損木の処理に対して補助制度を設けることで、2月28日時点で46件、119本に及ぶ処理を実施した。このことは、台風シーズンを迎える前に松くい被害木を早期に伐倒処理することにより、倒木による二次的被害を未然に防止する効果が絶大であった。また、土地所有者に対する啓発効果もあり、所有地管理意識向上が図られた。さらには、477万円を超える総事業費が管内の林業事業体にもたらす効果(雇用等)も事業評価の一端である。

(2) 課題

アカマツの多い千曲川以西の地域、東御市境や佐久市境で被害が甚大になっており、市内にも被害地が拡大し、その先端も標高1000m地点に迫っている。被害木が広範囲に広がっているため、全てを駆除することが困難な状況である。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

予算規模は縮小方向となるが、被害木の倒木による二次的被害を未然に防止する効果はもとより、土地所有者に対する所有地管理意識向上の啓発を図る。目的からしても、来年度以降も本事業を継続することで、市内の美しい松林景観の造成に寄与したいと考える。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)



(別記様式第15号)

## 令和3年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名	川上村
------	-----

No.	事業項目	事業名
1	森林を支える豊かな地域づくり	カラマツ木育事業
事業費		1,177,290 円 (うち支援金: 1,067,000 円)

### 事業目的

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

#### (1) 地域の森林・林業の現状と課題

- ・カラマツを中心とした50年以上の人工林は成熟期を迎え、伐って利用する時期となっている。そのため、よりカラマツ材の利用促進を図る取組が必要です。
- ・林業生産活動の停滞による林業従事者の減少により、森林の保全、木材の安定供給に影響を及ぼす懸念があります。

#### (2) 本事業の目的

- ・児童に対して、カラマツ材利用の大切さや村の産業を支えた林業、木材に興味をもってもらうための体験学習の場を設ける。また、本事業で植栽した立木を保護するため、鳥獣被害防止柵を整備する。

### 事業内容

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

- (1) 実施場所 別添「カラマツ木育事業予定表」のとおり
- (2) 対象者 別添「カラマツ木育事業予定表」のとおり
- (3) 実施方法 別添「カラマツ木育事業予定表」のとおり
- (4) 事業目標及び当年度事業量

#### ①全体計画(平成30~令和4年度)

カラマツの苗作りから始まり、植栽、間伐、加工という林業の一連の流れを小学生に体験してもらう。

#### ②令和3年度実績

- ・しいたけの植菌・カラマツの苗作り、植栽、間伐体験、コースター作り、椅子作り



1. しいたけの植菌



2. 苗づくり



3. 植栽



4. 間伐体験



5. 椅子づくり



6. コースター作り



6. 野生鳥獣侵入防止柵設置





## 事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

### (1) 事業実施の効果

児童に森林や木に触れ合う機会を提供することで、親しみや理解を深めてもらうとともに、森林の役割やカラマツ材をはじめとした様々な木材の特徴を伝えることができる。

### (2) 継続性

種まき→植栽→伐採→加工という林業の流れを、小学校3年生から6年生まで毎年異なるテーマで実施し、森林の保全や利用促進のための取組を多くの児童に伝えられる機会となる。

### (3) 普及性

本事業を通して林業に関心を持った児童が、将来林業に携わる仕事に就くことを期待している。

## 事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

### (1) 目標に対する成果の状況

- ・本年度は合計112名の児童がテーマ毎の木育事業を体験した。
- ・当村の森林の歴史や現状について理解を深めることができた。
- ・カラマツ材の良さ、利用する大切さを学ぶことができた。

### (2) 課題

- ・中学生を対象とした林業教育の充実を図る必要がある。

### (3) 今後の取組方向

#### 事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

- ・今後も目的達成のために、引続き小学生を対象とした木育事業を実施する。

#### 事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

#### 事業を継続しない

(継続しない理由を記載)



## 令和 3 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名	南牧村
------	-----

No.	事業項目	事業名
	森林を支える豊かな地域づくりに関する事業	緩衝帯整備事業
事業費 5,000,000 円		(うち支援金: 700,000 円)

### 事業目的

#### (1) 地域の森林・林業の現状と課題

南牧村内では民有林が多く、カラマツが多くを占めている。カラマツの価格低迷などにより林業への関心が薄れているため、手が施されていない森林が多く残っている。そのため、道路沿線に木が鬱蒼としており、鹿等の飛び出し事故が多発している。

#### (2) 本事業の目的

緩衝帯整備を行い、鹿等が道路に飛び出しにくい環境づくりを行う。

### 事業内容

#### (1) 実施場所

南牧村 大字 海ノ口 県道梓山海ノ口線

#### (2) 対象者

民有林所有者

#### (3) 実施方法

道路沿線の木の伐採を行う。

#### (4) 事業目標及び当年度事業量

##### ①全体計画 (平成30年度～令和4年度)

村道海尻芦平線 沿線 (L=590m)

県道梓山海ノ口線 沿線 (L=1,800m)

村道野辺山平沢線 沿線 (L=1,270m)

##### ②令和3年度計画

県道梓山海ノ口線 伐採延長 L=700m





## 事業効果

### (1) 事業実施による効果

道路沿線の緩衝帯整備を行う事により、運転手からは見通しがよく、しかも緩衝帯があることにより、鹿等の野生鳥獣が飛び出しにくくなる。また、所有者が独自で更新（伐採・植栽）をすることにもつながり、別路線も日当たりがよくなった。

### (2) 継続性

樹木を伐採すれば、後年は比較的軽微な草刈り作業のみで、継続的に緩衝帯を維持することができる。

### (3) 普及性

緩衝帯を整備することで、地域住民が運転しやすく鳥獣等との事故を抑制できる。

## 事業の検証及び評価

### (1) 目標に対する成果の状況

道路沿線の伐採によって、とても見通しのいい道路となった。観光客も通る主要幹線道路であるので、費用対効果はとしても高いものであった。

### (2) 課題

森林所有者に対し現場立ち合いの場を設けるため、通知書の発送や電話での連絡を試みた。しかし、1名の森林所有者と連絡を取ることができず、本事業の対象外とする箇所ができてしまった。

### (3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

今年度と同様に別路線の緩衝帯整備を行い、見通しのいい道路としていく。

事業内容を見直して継続する

事業を継続しない



(別記様式第15号)

## 令和3年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

南相木村

No.	事業項目	事業名
1	木を活かした力強い産業づくり	木資源活用推進事業
事業費 532,660 円 (うち支援金: 532,000 円)		

### 事業目的

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

本村の人工林は、偏った齢級構成のまま成熟期を迎え、計画的な更新により森林資源の持続的安定供給が可能な森林造成と森林資源の有効活用が課題となっている。

(2) 本事業の目的

県産材を使用した木製品を多くの人々の目に付きやすい公共施設に設置し、県産材の更なる活用普及を図る。

### 事業内容

(1) 実施場所 南相木村 字川俣 不戦の像周辺

(2) 対象者 地域住民及び来村観光客

(3) 実施方法 多くの方が訪れる不戦の像の周辺に県産材を使用した手すりを設置(改修)する。地域住民や来村者に直に触れてもらい、県産材の活用について解説パネル等で理解を深める。

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画(平成30～令和4年度)

県産材で製作した木製品設置 20基

②令和3年度計画

ー南相木村 字川俣 不戦の像周辺 木製手すり改修ー

村の入り口である字川俣には「別れの松」という二本横並びになった赤松があり、この場所は戦時中に兵役に出る者を家族が見送った、村民にとっては思い入れのある場所である。昭和60年に戦争の惨禍を繰り返すことの無いよう、当時見送った家族をかたどった不戦の像を建設し、平和への誓いを新たにされた。現在は村外からもこの像を見に来る人も多くなってきており、村の名所の一つとなっている。令和2年度は県産材を使用したベンチを設置し、人々が集える場所とした。現場は土手が高く危険であるため手すりがあるが、老朽化が著しい。そこで、県産材を使用した手すりに改修し危険防止を図るとともに、県産材の普及を図っていく。





## 事業効果

### (1) 事業実施による効果

(事業目的に対応する効果について記載)

木質製品を設置し、身近に感じていただくことで地域住民や来村者が木質製品に親しむことができ、村産材を活用した製品の需要の創出が期待できる。

### (2) 継続性

(事業又は事業効果の継続性、発展性について記載)

村内公共施設に木質製品を増やすことで、村内で木を使うことが常的となり、更に木質製品の波及効果が期待できる。これにより村内での木材需要の拡大につなげて行く。

### (3) 普及性

(事業の効果が県民等の目に見える形で発現されるものであることについて記載)

地域住民や来村者が多く利用する村内公共施設を木質化することで、多くの方が実際に木製品に触れ、解説パネル等を通じて事業について知ることができる。

## 事業評価と今後の取組

### (1) 目標に対する成果の状況

平成30年度から令和4年度の全体計画は木製品の設置20基で、このうち平成30年度に6基、令和元年度に6基、令和2年度6基の木製ベンチの設置と本年度、木製手摺の改修を一か所行った。本年度は、名所の一つでもある不戦の像の木製手摺を改修したことにより地域住民に興味を持ってもらう事ができた。

### (2) 課題

ウッドショックによる国産材の需要増加という追い風もあり地域住民が木質製品に興味を持ち親しんでもらう事ができた。地域住民に興味を示すことが出来たが、村外者に村産材の魅力を発信できるような事業を検討する必要がある。

### (3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

地域住民に興味を持ってもらう事が出来たため、来村者に興味を持ってもらうように検討する。

事業内容を見直して継続する

事業を継続しない



## 令和 3 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

軽井沢町

No.	事業項目	事業名
1	森林を支える豊かな地域づくり	緩衝帯整備事業
事業費		1,100,000円 (うち支援金: 927,000円)

### 事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

住宅地の周辺を囲む民間の森林(別荘地)は適切な管理がされていない箇所があり、藪の深い場所では野生動物が潜み易い環境となっている。

(2) 本事業の目的

野生動物の被害防止のため緩衝帯整備として森林整備を行う。見通しの良い環境を整備することで、住居エリアへの侵入を防ぎ、野生動物の潜み易い場所を解消することが出来る。

### 事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 軽井沢町内(上発地区)

(2) 対象者 軽井沢住民(上発地区)

(3) 実施方法 草刈り機使用(藪刈り、刈り倒し)面積 11,000㎡  
道路より奥行10m以内の範囲

(4) 事業目標及び当年度事業量

① 全体計画(平成30年～令和4年度)

平成30年度(大日向地区) 11,500㎡

令和元年度(古宿地区) 11,000㎡

令和2年度(千ヶ滝中区、離山区) 11,000㎡

令和3年度(上発地区) 11,000㎡

令和4年度(馬取区) 13,000㎡

② 令和3年度実績 軽井沢町内(上発地区) 11,000㎡





## 事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

### (1) 事業実施の効果

緩衝帯整備事業の刈り払いを実施することで住居エリアへの侵入を防ぎ、野生動物の潜み易い場所を解消することが出来る。

### (2) 継続性

住宅エリアへの野生動物の侵入を予防するため、今後も計画的に進めていく。

### (3) 普及性

藪刈り実施の承諾を所有者から得ることにより、藪を放置すると野生動物が潜む可能性があることを啓発出来る。

## 事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

### (1) 目標に対する成果の状況

民有地の藪刈りを実施することで見通しが良くなり、野生動物の潜み易い場所を解消することが出来た。

### (2) 課題

所有者から藪刈りの承諾を受けられない場合、又実施箇所で刈り取れない植栽があると一部で見通しが良くならない事が生じる。

### (3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

住居エリアへ野生動物の侵入を防ぐため、対象となる地区について藪刈りを計画的に実施していく。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)



## 6 (1) みんなで支える森林づくり推進事業

### 1 事業の概要

森林の役割や森林づくりの重要性等について、県民の理解を深め、多様な主体による森林づくりを促進するため広報・普及啓発活動を実施する。

また、地域会議による税活用事業の評価・検証を行います。

### 2 目指す成果・成果目標

森林税の使途の認知度 30%

#### 【取組により期待される効果】

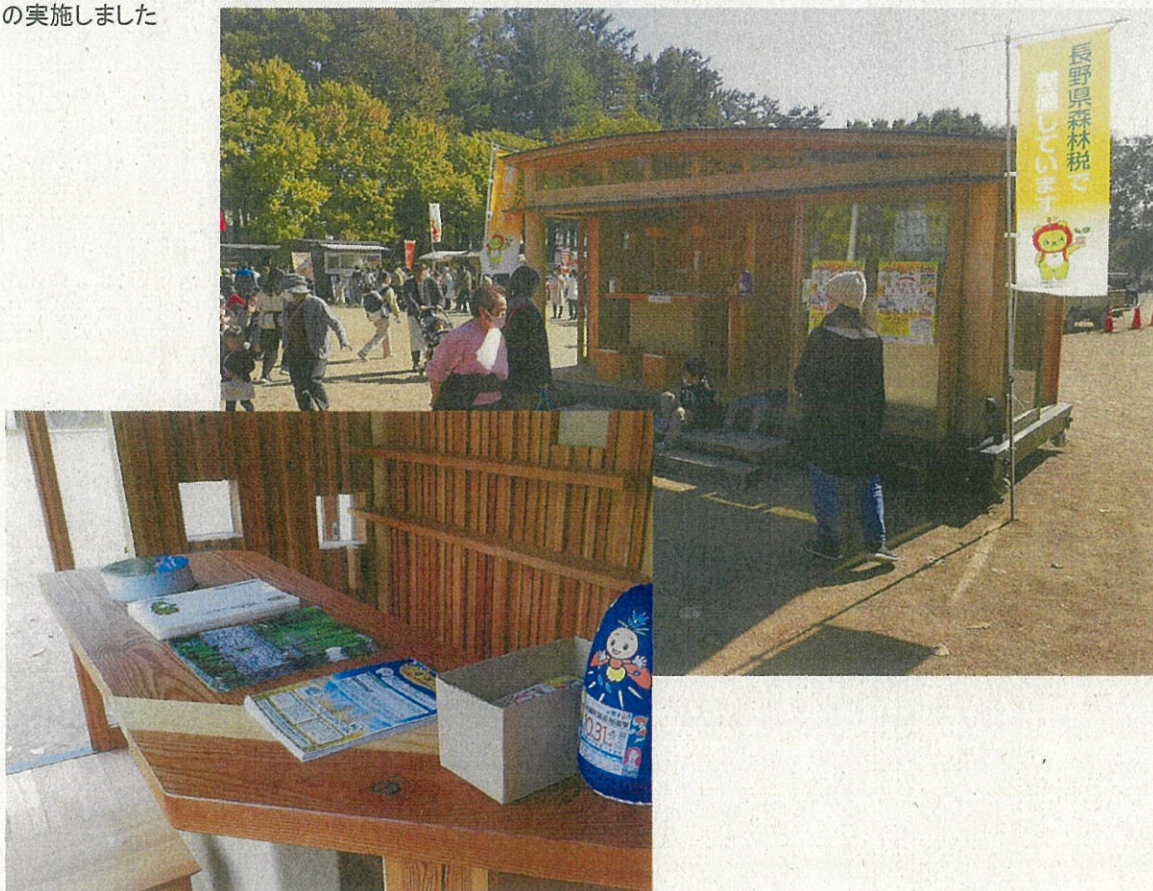
・森林税活用事業を活用した取組の増加

### 3 令和3年度実績見込み

単位:円

実施地域	事業主体	令和3年度 事業内容	補助率	事業費
管内一円	県 (佐久地域振興局)	・森林税事業のPRの実施 ・会議等における事業説明 ・地域会議開催(書面開催)	-	274,360

\* 10月24日佐久青年会議所主催により佐久市駒場公園で開催した、カラマツフェスに協力し森林税事業のPRの実施しました





## 6 (2) 森林(もり)の里親促進事業

### 1 事業の趣旨 (概要)

県が仲立ちとなり、企業等による社会貢献活動や福利厚生活動の場を山村地域へ誘導することにより、森林整備の推進と都市部との交流交流による地域活性化を図る。

県は県外企業等への働きかけを積極的に行うとともに、受入先となる地域との調整を行う。

### 2 目指す成果・成果目標

#### 【取組により期待される効果】

(1) 企業は、地域活動に参加することで株主や顧客に対する信用の増加につながり、企業価値を高めることができる。

(2) 地域は、企業等から人的及び金銭的な支援を受け、森林整備を積極的かつ持続的に行うことで、地域の活性化につながる。

(3) 社会貢献活動を通じ、企業等と地域の交流の推進



企業(社員)による森林整備体験  
(R2 郵船ロジステック・立科町)



調印式後の記念植樹  
(R2 三井住友カード・モアトゥリーズ・小諸市)

### 3 令和3年度実績見込み

単位:千円

実施地域	事業主体	令和3年度 事業内容	補助率	予算額
5市町村(9件) 小諸市(4)、佐久市(2)、佐久穂町(1)、 南相木村(1)、立科町(1)	市町村、団体	コロナ禍の中、企業との交流 が叶わないが、森林整備は実 施中。	-	-

※「佐久地域振興局管内森林の里親の締結状況」別紙のとおり



## 【別紙】

## 佐久地域振興局内 森林の里親の締結状況

(令和4年2月末現在)

契約日	契約企業等	受入市町村等	備 考
H16.4.27	(有)クリーデンス	協和財産区(佐久市)	終了
H17.1.19	沖電気工業(株)	小諸市	継続(R7.1.31まで) 5年契約更新
H20.4.1	長野朝日放送(株)	大沢財産区(佐久市)	終了
H20.4.1	(株)セガ	南相木村	継続(R5.3.31まで) 5年契約更新
H20.5.19	(株)ネイチャーズウェイ	糠地生産森林組合(小諸市)	継続(R4.5.18まで) 契約毎年更新
H21.6.8	NPO法人浅間山麓国際自然学校	元気アップ事業実行委員会	終了
H21.9.7	(株)ルイヴィトン、モアトゥリーズ	小諸市	終了
H21.10.24	信州醸熟和酒の会	川上村	終了
H21.11.1	リネネットワークコミュニケーション(株)	大沢財産区(佐久市)	継続(R4.3.31まで) 覚書毎年更新
H22.10.1	郵船ロジスティクス	立科町	継続(R4.9.30まで) 3年契約更新
H23.3.17	前田建設工業(株)	大沢財産区(佐久市)	継続(R8.3.31まで) 5年契約更新
H23.7.27	府中市	佐久穂町	解除申出まで有効
H30.1.1	一般社団法人モアトゥリーズ	小諸市	解除申出まで有効
R2.10.14	三井住友カード(株)、(一社)モアトゥリーズ	森林所有者、天狗温泉浅間山荘、佐久森林組合(小諸市)	R9.3.31まで R9.2月末に継続更新を協議する
計	14件(継続9件)	2市2町2村(2市2町1村)	